

平成 12 年 6 月 19 日

DLJ ディレクト SFG 証券 信用取引サービスを開始

インターネット・トレーディング専門証券会社のディーエルジェイディレクト・エスエフジー証券株式会社（代表取締役：國重惇史、本社：東京都千代田区；以下「DLJ ディレクト」）は、7 月より信用取引サービスを開始いたします。

信用取引サービスを提供することで、DLJ ディレクトでは、昨年 6 月のサービス開始以来強く寄せられていた顧客からの要望に応えるとともに、より取引回数の多い収益性の高い顧客の獲得を目指します。また、DLJ ディレクト顧客の取引プロフィール（5 月末時点）を見ると、1 稼動口座あたり過去 1 年間の国内株式の平均売買回数は約 18 回、預かり資産は 742 万円、5 月の 1 取引あたりの平均売買代金は 142 万円と、全般に売買代金が高めで、株式投資の経験が豊富な層が多いと見込まれ、非常に魅力的なサービスになるものと考えています。

具体的なスケジュールとしては、7 月 15 日に信用取引の口座開設申込み受付を始め、8 月 28 日より取引サービスを開始いたします。

また、売買委託手数料も新たに設定いたしました。その特徴は、業界最低水準、売買件数が最も多いと想定される売買代金 300 万円までは定額手数料を採用、電話取引の手数料は信用取引に係るリスクなどを考慮しインターネット取引での手数料に 3,000 円のプラス、となります。（次頁に他社比較表）

《信用取引売買委託手数料》		売買代金 300 万円まで
取引方法		手数料
インターネット取引	成行注文	2,400 円
	指値注文	3,000 円
電話取引	成行注文	5,400 円
	指値注文	6,000 円

売買代金 300 万円超の場合、売買代金 100 万円まで毎に 500 円の追加

また、取引開始基準のひとつである最低預かり資産額も業界最低水準を設定し、100 万円といたします。これにより、より多くの層の顧客獲得が可能になるものと考えています。

その他、信用取引の概要は下記の通りとなります。

- 制度信用取引のみ
- 委託保証金率：50%
- 委託保証金最低維持率：30%
- 取扱い市場：東証・大証
- 代用掛目：上場銘柄80%、店頭登録銘柄70%

DLJ ディレクトは、1999年3月に設立され、同年6月11日よりサービスを開始した日本初のインターネット・トレーディング専門の証券会社です。DLJ *direct* Japan Holdings Inc.、住友銀行、さくら銀行、インターネットイニシアティブ、住友商事、住友海上火災保険、住友信託銀行、住友生命保険が株主となっています。

ご参考：信用取引売買委託手数料比較表（インターネット取引での成行注文の場合）

	売買代金						
	50万円	100万円	200万円	300万円	500万円	1000万円	2000万円
DLJディレクト	2,400	2,400	2,400	2,400	3,400	5,900	10,900
A社	3,000	3,000	3,000	3,000	6,000	12,000	24,000
B社	2,000	2,500	5,000	7,500	12,500	25,000	30,000
C社	2,000	2,000	4,000	6,000	10,000	20,000	40,000
D社	2,000	2,500	5,000	7,500	12,500	25,000	30,000
E社	2,000	3,000	4,000	6,000	15,000	30,000	60,000